

自治体肝炎ウイルス検査の実態と陽性者 follow up（宮崎県・宮崎市の取り組み）

研究分担者：永田 賢治 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター

研究要旨：宮崎県内に潜在しているウイルス肝炎患者の掘り起こしのために肝炎検診の陽性者のフォローアップシステムを構築するために、県内で実施されている自治体での肝炎検査の実態を調査した。宮崎県内で実施されている肝炎検査について、受検者数は最近では8,500名程度で横ばいであり、陽性率はHBVで0.4%、HCVで0.2%であり、HBVについては平成22年以降緩徐に低下傾向であり、HCVについても緩徐低下傾向であったが、平成29年以降は0.2%程度で横ばいの状況であった。

A. 研究目的

近年、ウイルス性肝炎の治療にはHBVに対する核酸アナログ製、HCVに対するDAA治療が導入され多くの患者で疾患のコントロール、ウイルス学的治癒が達成されつつある。厚生労働省では平成26年度より肝炎ウイルス陽性者を早期に発見するとともに、相談やフォローアップにより陽性者を早期治療につなげることを目的とした「ウイルス肝炎検査等の重症予防化推進事業」を行っている。宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状把握と陽性者の追跡調査を行い、肝炎ウイルス検査陽性者の追跡システムを構築し、適切な医療に導くことを目的として本研究を行う。さらに、若年世代の潜在性ウイルス肝炎陽性者の実態を調査するために妊婦検診における肝炎検査の実態を調査した。

B. 研究方法

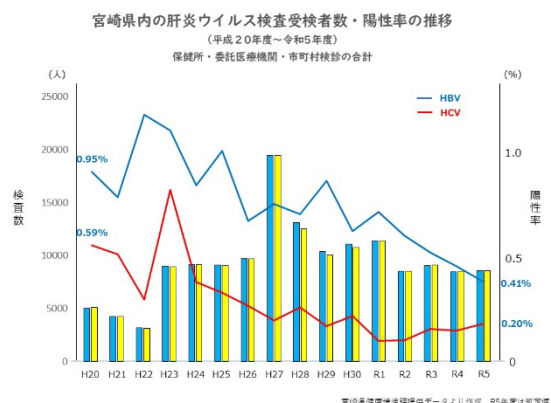
宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状を把握のため、平成20年より県内各市町村において実施されている肝炎ウイルス検査（肝炎ウイルス検査事業、緊急肝炎ウイルス検査事業、肝炎ウイルス検診事業（健康増進事業））の受検者数、陽性率の推移について調査した。また、宮崎市における肝炎検診については陽性者への受診勧奨、精密検査受検確認率も調査した。妊婦検診における肝炎検査については宮崎市の実態について調査した。県全体の検診結果については宮崎県福祉保健部健康増進課に、宮崎市の検診結果については宮崎市健康支援課および宮崎市子ども家庭支援課に

調査協力を依頼した。

C. 研究結果

令和5年度に実施された宮崎県内の自治体の肝炎検診の受検者はHBV・HCVともに約8,580名であり、ここ4年間は横ばいであった。陽性者および陽性率はHBV・HCVでそれぞれ35名、0.41%、17名、0.20%であり、陽性率はHBVについては平成22年の1.23%から徐々に低下しており、HCVについては平成29年以降0.2%前後で推移していた（図1）。

図1



宮崎市の肝炎検査では受検者はHBV・HCVともに約3,590名であり、ここ6年間は横ばいであった。陽性者および陽性率はHBV・HCVでそれぞれ18名、0.41%、10名、0.16%であり、陽性率はHBVについては平成22年の1.23%から徐々に低下しており、HCVについては平成29年以降0.2%前後で推移しており、宮崎県全体の結果とほぼ同様であった（図2）。宮崎市では肝炎検査陽性者への受診勧奨は、検診機関からの受診説明後、一定期

間の後に精密検査実施医療機関からの受検報告書が届かない陽性者に対して、文書での受診確認・受診勧奨を行っている。平成30年から令和5年までの6年間の受診確認率はかなりばらつきが多いが、HBVで27.3～80.0%、HCVで0～80.0%であった（図3）。

図2

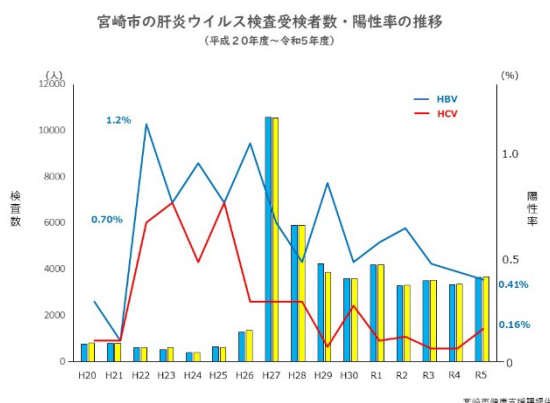


図3

宮崎市の肝炎検診陽性者フォローアップ状況
(H30-R5年度、受検者数、陽性者数、陽性率、受診確認率の推移)

B型肝炎				
年度	受検者数	陽性者数	医療機関受診済	受診確認率
H30	3,584	18	14	77.8%
R1	4,173	25	10	40.0%
R2	3,275	22	6	27.3%
R3	3,503	17	9	52.9%
R4	3,323	15	12	80.0%
R5	3,640	15	8	53.3%

C型肝炎				
年度	受検者数	陽性者数	医療機関受診済	受診確認率
H30	3,587	10	8	80.0%
R1	4,174	4	0	0.0%
R2	3,301	4	1	25.0%
R3	3,523	2	0	0.0%
R4	3,338	2	1	50.0%
R5	3,654	6	3	50.0%

宮崎市の妊婦検診における肝炎検査については結果を図4に示す。こちらも平成30年から令和5年までの6年間の推移を示すが、受検者数は平成30年の3,256名から令和5年の2,583名に減少傾向であり、陽性率はHBVで0.21%から0.08%、HCVで0.12%から0.08%といずれも低下傾向であった。陽性者の属性やその後の精密検査の受診状況については把握できていなかった。

図4

宮崎市の妊婦肝炎検診受検状況
(平成30年度～令和5年度)

B型肝炎			
年度	受検者数	陽性者数	陽性率
H30	3,256	7	0.21%
R1	3,252	8	0.25%
R2	3,094	8	0.26%
R3	3,010	8	0.27%
R4	2,883	3	0.10%
R5	2,583	2	0.08%

C型肝炎			
年度	受検者数	陽性者数	陽性率
H30	3,256	4	0.12%
R1	3,252	1	0.03%
R2	3,094	6	0.19%
R3	3,010	2	0.07%
R4	2,883	3	0.10%
R5	2,583	2	0.08%

D. 考察

宮崎県内の自治体検診においてウイルス肝炎検査の陽性率は年々低下傾向であるが、HBVではいまだ陽性率が高めであり、再活性化対策も含めて陽性者への適切な対応が必要である。HCVについては陽性率が減少し、全県的にウイルスのmicro eliminationが進んでいるものと思われる。妊婦検診における陽性率も低下傾向にあるが、若年層における肝炎検査陽性率についても今後継続して経過を調査する必要があると思われる。

E. 結語

宮崎県内の多くの地域で肝炎検査が促進しているが、特に60歳以上の高齢者では未だに陽性者は多いと推測される。今後は宮崎市以外の自治体での受診勧奨、精密検査受検率などの調査が必要と考える。

F. 政策提言および実務活動

<政策提言>

なし

<研究活動に関連した実務活動>

なし

G. 研究発表

1. 発表論文

なし

2. 学会発表

なし

3. その他

啓発資材

なし

啓発活動

1. 令和6年度宮崎県肝炎医療コーディネーター養成研修会 2025年1月20日～2月20日(期間限定配信) 宮崎県主催
2. 令和6年度宮崎県肝炎医療コーディネーターキャリアアップ研修会2025年3月18日 宮崎県主催
3. みやざき肝炎デー2024 会場 イオンモール宮崎 2024年7月21日 主催：宮崎県，宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし